

財政事情の公表

平成24年度 下半期

表1：一般会計の執行状況

(単位：千円、%)

費目	予算現額	収入済額(執行率)
歳入	36,171,577	30,084,504 (83.2)
市税	12,504,942	12,197,891 (97.5)
市債	4,759,100	2,110,500 (44.3)
国庫支出金	5,866,892	5,232,559 (89.2)
地方交付税	6,259,856	6,286,135 (100.4)
府支出金	2,453,964	1,402,096 (57.1)
使用料及び手数料	671,486	541,333 (80.6)
諸収入	389,512	264,391 (67.9)
分担金及び負担金	400,732	344,790 (86.0)
その他	2,865,093	1,704,809 (59.5)
費目	予算現額	支出済額(執行率)
歳出	36,171,577	29,758,215 (82.3)
民生費	14,151,884	13,195,247 (93.2)
土木費	2,709,723	2,170,019 (80.1)
衛生費	3,873,886	3,104,875 (80.1)
公債費	3,708,660	3,498,302 (94.3)
総務費	3,739,976	2,605,843 (69.7)
教育費	4,334,715	3,101,142 (71.5)
消防費	1,663,865	1,137,769 (68.4)
その他	1,988,868	945,018 (47.5)

表2：特別会計・水道事業会計の執行状況

(単位：千円、%)

会計名	歳入		歳出	
	予算現額	収入済額(執行率)	予算現額	支出済額(執行率)
特別会計	27,969,582	24,184,785 (86.5)	27,969,582	24,636,643 (88.1)
国民健康保険事業	13,750,045	12,166,612 (88.5)	13,750,045	12,637,196 (91.9)
土地取得	230,876	200,875 (87.0)	230,876	200,875 (87.0)
部落有財産	5,780	5,301 (91.7)	5,780	4,851 (83.9)
下水道事業	4,129,391	2,419,343 (58.6)	4,129,391	2,867,460 (69.4)
介護保険	8,363,723	7,899,260 (94.4)	8,363,723	7,551,471 (90.3)
後期高齢者医療	1,489,767	1,493,394 (100.2)	1,489,767	1,374,790 (92.3)
水道事業会計	2,536,454	2,457,653 (96.9)	3,539,534	3,228,809 (91.2)
収益的収支	2,255,000	2,276,212 (100.9)	2,230,000	2,190,155 (98.2)
資本的収支	281,454	181,441 (64.5)	1,309,534	1,038,654 (79.3)

表3：市債・基金の状況

(単位：千円)

種類	金額	主な使い道
市債	63,275,593	
臨時財政対策債等	17,117,436	財源不足への対応
通常の建設地方債	14,835,549	教育・福祉施設等整備事業債など
下水道事業債	26,614,274	下水道事業
水道事業債	4,708,334	水道事業
基金	10,084,607	
財政調整基金	2,723,053	財源不足への対応
減債基金	1,011,516	借金の返済
普通建設事業基金	1,742,802	一般建設事業
その他特定目的基金	4,433,705	消防防災拠点施設建設基金など
水道事業基金	173,531	用地取得・施設整備など

※市民一人当たりの市債の額は518,827円、基金の額は87,799円です。

ここでは、今年3月末までの予算の執行状況および市の財産の状況についてお知らせします。

一般会計・特別会計と水道事業会計の状況

平成24年度一般会計予算は33億9千882万6千円（繰り越し予算含む）でスタートしましたが、29億7千275万1千円を増額補正し、最終的には36億7千157万7千円になりました。

最終予算現額に対する3月31日までの執行状況は、表1のとおりです。また、全体の執行

割合は歳入が83・2%、歳出が82・3%となっております。なお、市民一人当たりの市税負担額は11万1千588円（二世帯当たりでは26万7千123円）です。

また、市では一般の歳入歳出と分けて経理する必要のある6つの特別会計と、公営企業として水道事業会計を設けています。これらの収支の状況は表2のとおりです。

基金・市債・財産の状況

市の貯金である基金、市の借金である市債の状況は表3のとおりです。なお、一時的な現金の割合は歳入が83・2%、歳出が82・3%となっております。なお、市民一人当たりの市税負担額は11万1千588円（二世帯当たりでは26万7千123円）です。

また、市では一般の歳入歳出と分けて経理する必要のある6つの特別会計と、公営企業として水道事業会計を設けています。これらの収支の状況は表2のとおりです。

財政体質の改善とまちの魅力アップに向けて

財政構造の弾力性を示す経常収支比率（平成23年度決算は97・7%）は、高い水準で推移しており、平成24年度決算においても同様の状況が見込まれます。引き続き厳しい財政状況となりますが、今後も、市では昨年度策定した「財政体質改善プログラム」に基づき、財政体質の改善に努め、まちの魅力アップに取り組んでいきます。

問い合わせ 財政課

文中や各表の数値は、平成25年3月31日現在のものです。会計年度は終わっていませんが、5月31日まで出納の整理を行いますので、平成24年度決算の数値とは一致しません。